



#### 1.教育助成

#### 入学関連

- 入学式
- 新入生オリエンテーション
- 新入生合宿研修 [平成28年4月16日~17日]

#### 大学説明会関連

● オープンキャンパス [平成28年7月30日・10月29日]

#### 教育関連

- 新入生ふれあい朝食会 [平成28年4月11日~15日]
- 2年次学生と教員との懇談会
- 優秀学生表彰
- 看護学専攻・検査技術科学専攻へ助成
- 全学共通教育協力金へ助成

#### 2.国家試験対策

- 看護師等国家試験対策模試
- 臨床検査技師国家試験対策模試
- 3. 就職対策
- 教員による病院等の就職先への訪問
- 4. 医学部国際交流助成
- 国際交流協定校との交流
- 5.文化行事援助
- 錦祭
- 6.後援会運営
- 保健学科広報「アレスコ」発行
- 後援会役員会

## 編集後記

鳥取大学医学部保健学科広報誌アレスコ(ALESCO)第15号を発刊いたしました。

今号は、昨年同様、新入生宿泊研修会、卒業生だより、人材育成、学術研究紹介、卒業研究演題に加え、新任教員の紹介と退職する教員からの挨拶と講座紹介では所属教員から最近の講座内の様子や教育・研究活動の様子を紹介する内容にリニューアルしています。保健学科教職員を少しでも身近に感じていただけると幸いです。

ささやかではございますが、保護者及び関係各位の皆様には、アレスコの1つ1つの記事を通じて、保健学科の 「成長・発展(アレスコ)」の姿、ご子息、ご息女の学生生活の一端を感じ取っていただければ幸いに存じます。

保健学科広報委員長 池田 智子

[発行責任者] 鳥取大学医学部保健学科後援会·鳥取大学医学部保健学科広報委員会 [発行所] 鳥取大学医学部保健学科(〒683-8503 鳥取県米子市西町86番地) [発行年月] 平成29年2月



平成27年度後援会事業報告·平成28年度後援会役員名簿 19 平成28年度後援会事業計画·編集後記 ············· 20

# 

## 写真で綴る新入生宿泊研修会



平成28年4月16日(土)・17日(日)に1年生が参加した研修です。この研修は、「大学入門ゼミ」という必修の授業科目であり、入学後様々な悩みを抱きやすい新入生が、早く大学生活に慣れるように支援することを目的に毎年度実施しています。2年生も先輩アドバイザーとして参加しました。



研修2.大学生活を如何に生きるか8~9名ずつ計15グループに分かれて、

グループワークの 進め方をレクチャー その後、お好みの 場所へ移動!

これから共に学んでいく仲間たちと 「よろしく」の握手を交わしました





グループで話し合った内容をみんなで分かち合いました。 大学生活のヒントになることがたくさんあったかな?





### 研修3.ヒューマンコミュニケーション

相手の立場に立つとはどういうこと?













## 





米子キャンパス 附属病院見学前の概要説明







手術部

先輩たちから大学生活の アドバイスをたくさん頂けて 良かったです。 2日間ありがとうございました。

湖山の1年間は時間的にゆとりが あるので、いろんなことに チャレンジして欲しいです。 来年、みんなが2年生になって 一緒に米子キャンパスで過ごすのを 楽しみに待っています。



保健学科長挨拶

## 保健学科の強みとは?

保健学科長 廣岡 保明



平成11年10月に鳥取大学医療技術短期大学部から改組された保健学科は、平成29年3月に126名の第14期卒業生を送り出します。また、鳥取大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程(平成16年4月設置)および博士後期課程(平成20年4月設置)からは17名が修了します。卒業生、修了生の多くは、看護師、助産師、保健師、臨床検査技師、研究者、教育者として山陰のみならず全国の医療機関、自治体、企業、研究教育機関などで幅広く活躍しております。このように卒業生が活躍できるのも、物心両面で手厚い援助をいただいた保護者、後援会、同窓会そして関係各位の皆様方のおかげであることを改めて感謝いたしております。

さて、保健学科の使命について、昨年の本誌 (アレスコ) にその一部を記載いたしました。本稿では鳥取大学 医学部保健学科が誇ることのできる強み (特徴) について考えたいと思います。

1つ目はやはり卒前卒後の一貫した質の高い専門職業人育成があげられます。学部教育ではコミュニケーション教育はもとより、アクティブラーニング、シミュレーション教育を積極的に取り入れるとともに、看護学専攻のみならず検査技術科学専攻学生にも他者へのいたわりの心を涵養し、より実践に即した全人的医療人の育成を行っています。平成37年には5人に1人が75歳以上となるので、在宅医療や介護がさらに重要な位置を占めますが、在学中に興味を持った在宅医療のマインドが急性期病院に就職することで失われてしまうのを防ぐため、在宅志向を持つ看護師育成教育を卒後1~2年目の看護師にも継続して行っております。さらに、結婚や育児で離職していた方々や実際に在宅医療に関係している方々にも、在宅医療マインドを持っていただくような教育コース設定も行っており、キャリア形成にも一役買っているのではないかと自負しております。

2つ目は専門資格(認定看護師、専門看護師、超音波検査士、細胞検査士、認知症領域検査技師、等)取得に向けた教育を附属病院とも連携しながら、大学院学生のみならず、地域の看護師、臨床検査技師に対しても門戸を広げて行っております。このことは、とりもなおさず社会・地域貢献そのものでもあります。例えば、認定看護師教育課程(乳がん看護、がん化学療法看護)によって、鳥取県内の乳がん看護認定看護師数は中四国地方で一番多くなり、各病院において患者さんが安心して治療を受けられるような体制作りに協力できているのではないかと確信しております。

3つ目は、常に新たな取り組みを模索・チャレンジしていることが挙げられます。例えば、学科の枠を超えた教育、養護教諭 I 種免許課程の検討、特定看護師の育成、海外での患者教育、看護・検査学生の共同作業による多職種連携教育、認知症早期発見および予防法の実用化、情報通信技術 (ICT) を応用した在宅酸素療法の実用化、さらには鳥取県中部地震時のボランティア等、常に多くの取り組みを模索・実行しつつあります。

保健学科がある建物をアレスコ棟といい、この広報誌もアレスコと命名されておりますが、アレスコ(古代ラテン語で成長、発展の意味)の名前どおり、保健学科では学生・教職員が一丸となって多くの事にチャレンジして成長・発展していっております。そして卒業後は、鳥取大学医学部保健学科で学んだ事を基礎に、さらに大きく翼を広げて羽ばたいていただくことを願っております。

今後のさらなる飛躍のため、皆様方のご指導、ご支援を引き続き賜ることができますよう、宜しくお願い申し上 げます。 卒業生だより

## 保健師・看護師として活躍する卒業生

#### 宮脇 圭子さん 看護学専攻第10期生

こんにちは。看護学専攻第10期生の宮脇圭子です。大学卒業後は江府町役場福祉保健課で保健師として働いています。「保健師って何?看護師とどう違うの?」とよく聞かれますが、私は「看護師が病院で患者に関わる仕事だとしたら、保健師は住民さんを病院に行かせないようにする仕事」と答えています。"ずっと健康でいたい""住み慣れた所で楽しく暮らしたい"そんな思いを持った多くの方のお手伝いをしています。こういった予防活動は成果が見えづらいですが「この活動が医療費や介護保険料の減少につながる。これからは公衆衛生の時代だ!」と思って日々頑張っています。

江府町は10年以上前から、過疎地看護演習の受け入れも行っています。私も、保健師を志したきっかけが過疎地看護演習だったので、地域活動の面白さや、やりがいを感じてもらえたら嬉しいな、と思っています。







#### 渡邊 真帆さん 看護学専攻第13期生

私は現在、地元である島根県の松江赤十字病院で、1年目の看護師として働いています。

実際の現場で、看護師として働くことは思っていた以上に、日々緊張の連続です。しかし丁寧に指導してくださる先輩方や、共に頑張っている同期、そして何より患者さんからの「ありがとう」の一言や、一看護師として頼られていると感じることが日々大変な中でも頑張ろうと思える原動力になっています。

大学時代「自分のやっていることが患者さんに何をもたらすのか、 それは看護になっているのか考えなさい」とよく言われていて、この 言葉は私が働く上で大事にしている言葉です。まだまだ未熟ではあ りますが、患者さんの生活を大切に「その人のための看護」ができる ような看護師になりたいです。





#### 卒業生だより

## 臨床検査技師・教員として活躍する卒業生

#### 細田 優太さん 検査技術科学専攻 第9期生

検査技術科学専攻第9期生の細田優太です。大学卒業後、大学院に進学し、生理検査、主に超音波検査を学びました。大学院卒業後、鳥取市の鳥取生協病院に就職し3年が経とうとしています。現在は一般検査、生化学検査、病理検査、超音波検査および、時には採血にも携わっています。分野が多岐にわたるため、各分野の勉強会や学会、参考書の購入など日々優先度を考えながら、医学の進歩に取り残されることのないよう邁進する毎日を送っています。

検査の業務外でも鳥取市で毎年行われるしゃんしゃん祭りや、地域の組合員の方々を訪問して一般の方向けに紙芝居で検査や病気の話をするなど、地域の病院ならではの取り組みにも参加しています。

今後も学生のころの初心を忘れずに、日々慢心することなく今の 自分の立ち位置だからこそ出来ることをみつめて、励んでいきたい と思っています。





#### 荒川 裕也さん 検査技術科学専攻第7期生

こんにちは、第7期卒業生の荒川です。私は現在、大阪の関西医療大学で助教として働いています。私は鳥取大学在籍時、将来のキャリアプランを漠然としか考えていませんでしたが、当時免疫・血液学担当であった飯島憲司先生から遺伝子研究の面白さを学び、大学教員に憧れるようになりました。その後、大阪大学大学院で修士号取得後、そのまま大学で研究を続けながら、神戸大学医学部附属病院の臨床検査技師として働いていました。そんな中、遺伝子検査学を教えられる臨床検査技師募集の話が舞い込み、これは夢を叶える最初で最後のチャンスかもしれないと考え、応募した結果、助教になることができました。現在は、臨床検査技師を目指す学生の教育と研究活動を両立しながら忙しく動き回っていますが、とても充実した毎日です。





## 看護学専攻紹介 各講座のトピックス

## 基礎看護学講座

#### ■看護のトビラを開けてみよう!

奥田 玲子

基礎看護学は看護の基礎となる知識や技術を学び、「看護とは何か?」という主題に向き合う最初の専門領域です。生活援助論演習では、事例を用いた擬似体験をとおして、状況における対象者の心情を考慮し、行為の意味を考えながら日常生活の援助が行えるための技術教育を行っています。「その人にとって必要な援助は何か」を情報のアセスメントをもとに判断し、対象者の個別性に応じた援助方法を試行錯誤しながら探求しています。グループ学習での体験の共有は、多面的な思考や自分とは異なる視点から課題を捉えるだけでなく、看護者としてのものの見方や考え方を協同的に学び合う場となっています。









新たな発表スタイルに座長も少し緊張気味?!

## 成人·老人看護学講座

#### ■平成28年度の課題研究、発表形式をCHANGE!

大庭 桂子

例年、当講座の課題研究発表会では、パワーポイントでの口演発表を行っていましたが、平成28年度は趣向を変え、学会発表などにおいて行われているようなポスター発表を行いました。ポスター発表では、縦180cm、横90cmというサイズの制限の中で、研究のプロセ

ス・成果などを表現しなければならないので、従来の発表以上に掲載内容の吟味・検討が大変だったようです。 今年度からの新たな発表形式に、やや緊張しつつも、約1年をかけて取り組んだ課題研究の成果をゼミ生達は、 練習を重ね、分かりやすく発表し、活発に質問・意見交換しながら有意義な課題研究発表会となりました。



全部で7演題のポスター発表がされました。後輩のゼミ生達も見に来てくれました。



取り組んできた努力の結晶が実り、

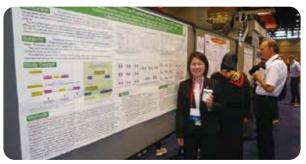
#### 母性·小児家族看護学講座

#### ■小児の健康について卒業研究と 大学院で能動的に学ぶ 花木 啓一

社会に出たとき、自ら進んで学ぶ能動的な学習方法を身につけていると、その後に充実したキャリアパスが開けます。その観点から、母性・小児家族看護学講座の花木研究室の卒業研究(課題研究)と統合実習では、「子どもの健康」を基盤に、学生自身が深めたいと思うテーマをそれぞれ考案して実施します。最近のテーマは、フィリピン小児の食習慣、遊びと性格の関連、長期入院患児の生活の質、幼児の生活習慣、小児悪性疾患経験者の心理社会的適応、入院患児への遊び環境の提供、肥満小児の減量動機づけプログラムなどです。大学院ではその発展型として、国内や国際学会での発表と学位論文を作成します。皆さんの決めた目標へ教員が道案内します。



小児の食習慣の聞き取り調査(フィリピン)



米国糖尿病学会で発表(シカゴ)

#### 地域·精神看護学講座

#### ■保健学科でのてんかんの学びと地域での 啓発活動について 吉岡 伸-

てんかんは100人に1人の有病率のあるありふれた一つですが、てんかんのある人に向けた医療などの支援体制は十分ではありません。そのような背景から、平成27年度から厚生労働省と自治体から委託され、てんかん地域診療連携体制整備事業が始まり、全国8ヶ所のひとつに鳥取県が選ばれ、連絡協議会委員長を務めています。現在、2年目が終わりかけ、普及啓発の研修会、HP作成、相談支援などを中心に活動しています。てんかんについては、これまで看護学専攻の学生に視覚的な講義や課題研究を行うほかに、地域で開催される講演、てんかん出前講座、福祉フォーラム、てんかん協会のキャンプなどにともに参加してきました。キャンプやフォーラムでの画像から、普段とは違い、活き活きした学生の姿を垣間見ることができます。



平成29年1月福祉フォーラム交流会にて(平井鳥取県知事を囲んで)



平成26年1月福祉フォーラム交流会にて



平成26年7月でんかん出前講座にて



平成25年7月鳥取県支部てんかん協会キャンプでの交流会

## 検査技術科学専攻紹介 各講座のトピックス

### 生体制御学講座

#### ■人体組織学の紹介 森 徹自

人体は約60兆個の細胞から構成されているといわれています。組織学は解剖学の中の一分野で、人体の構造を細胞レベルで理解する分野です。組織学実習では、人体の各臓器から作成した組織標本を、顕微鏡下で観察します。一口に「細胞」といっても、人体の各部位(臓器)で独特の形をした細胞を見ることができます。細胞の形の違いが、各臓器での細胞の機能の違いを反映しています。そして、正常な機能が破綻した状態が「病気」であり、細胞の形にも変化が現れます。組織学を勉強すると、人体は非常に合理的で美しい構造を持っていることに気が付くと思います。







## 病態検査学講座

#### ■病態血液学実習 I ~採血実技試験の実施~ 下廣 壽

検査技術科学専攻には、医学科が臨床実習の始まる前に必須となっているOSCE(Objective Structured Clinical Examination: 客観的臨床能力試験)のようなシステムはありません。そこで本年度、病態検査学講座が担当する検査技術科学専攻3年次の「病態血液学実習I」で、外来採血室を想定した採血実技試験を実施しました。学生は約半年間、採血練習を行いますが、より実践に近い形式で養った技術の評価を行いました。模擬患者役を他学年の学生にお願いし、採血管・採血器具の選択から、患者の呼出し・患者確認、医療廃棄物の処理など、実際の病院採血室での動きを評価しました。緊張感のある実技試験となりましたが、患者さんが不利益にならないためには、どのようにすべきかを考え学ぶには効果的であったと思います。





#### 教育活動1

## シミュレーションセンターを活用した授業

#### 屋根瓦式実習前技術演習

成人·老人看護学講座 西尾 育子

平成25年度から看護学専攻3年生を対象として「屋根瓦式実習前演習」を実施しています。この演習は、先輩である4年生が、3年生後期の臨地実習開始前の3年生の学習を支援し、実習への不安や緊張が軽減され、少しでも自信を高めることを目的としています。演習の一部は、シミュレーションセンターで、フィジカルアセスメントモデル"フィジコ"などのシミュレーターを使用し、周手術期の全身状態の観察(肺音、腸蠕動音の聴診など)膀胱留置カテーテルの管理などの看護技術の演習を行っています。3年生からは、シミュレーターでの見(観)て、聴いて、触れるなどの体験的な演習が、患者さんへの看護のイメージを掴む助けになったという感想も多く聞かれました。





#### 循環器検査の臨床検査技師教育

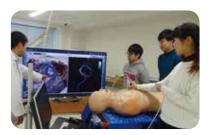
病態検査学講座 佐藤 研吾

本年度より、検査技術科学専攻の循環器検査実習を、シミュレーションセンターで実施しております。鳥取大学医学部のシミュレーションセンターは設備が充実しており、心電図、心音、心臓超音波検査のシミュレーターを用いて、実習前に指導することができます。シミュレーター使用後に、学生同士で検査を実施することで、学生の理解度が増し、スムーズな実習が可能となりました。

学生教育において、特に循環器検査は被検者への配慮と実施の難しさを兼ね備えており、シミュレーター使用は、このような難題を克服する良い手段だと思っております。今後も、シミュレーションセンターを活用し、充実した学生指導が出来ればと思います。







#### 教育活動 2

## 人材育成



#### がん化学療法看護

がん化学療法看護認定看護師 平尾 敦子さん

私は、日々目覚ましい発展を遂げるがん化学療法についてのスキルを高めたいと思い、平成24年当院医療スタッフ研修センター認定看護師育成支援室(旧キャリアアップセンター)第1期生として教育課程を経て、がん化学療法看護認定看護師の資格を取得しました。がん化学療法は次々と新薬が開発され治療の選択肢は広がっていますが、同時に副作用も避けられない治療です。患者・家族にとって治療効





果を最大限に発揮し、副作用による苦痛を最小限に抑えるためには、専門的な知識や技術を持った認定看護師の持つ役割は大きいと感じています。教育課程で得た学びを深め、自己研鑽を重ね、今後も患者・家族が安心して自分自身のがん治療に向き合えるよう、専門性の高い支援をしていきたいと思います。

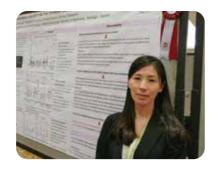
#### 超音波検査

超音波検査士 松田 枝里子さん

私は鳥取大学医学部附属病院で臨床検査技師として勤務しながら、博士前期課程に進学しました。日々の業務では頭頸部の超音波検査に携わり、学会発表や研究にも興味を持って取り組みながら、超音波検査士の資格取得を目指していました。大学院では、研究に対する理解を深めるとともに、超音波検査士(体表臓器)に必須である乳腺超音波検査の経験も積むことができ、在学中に資格を取得することができました。これらは先生方のご指導はもちろん、先に合格した先輩や、研究室の先輩と同期たちの協力があってのことです。仕事と大学院の両立は大変なこともありましたが、非常に恵まれた環境で充実した日々を送ることができ、キャリアアップに繋がりました。







## T-HOCにおける在宅医療推進のための看護師育成



地域·精神看護学講座 雜賀 倫子

平成26年から、「在宅医療推進のための看護師育成支援事業」を実施しています。T-HOC(Tottori Home Oriented Care)とは、プログラムの略で、「家や地域での生活を志向した看護ケア」を意味する造語です。「病院看護師と訪問看護師が協同して在宅生活志向の看護実践を行う」という事業理念とともに「HOCナースが地域包括ケアシステムのなかで大きく羽ばたいて活躍して欲しい」という私たちの願いが込められています。

大学、訪問看護ステーション、鳥取県内の病院、行政が連携して、在宅生活志向をもった病院勤務看護師や高い訪問看護実践能力を持った訪問看護師を育成支援しています。







#### 世界医学検査学会参加報告



病態検査学講座

平成28年9月 に世界医学検査 学会が神戸市で 開催されました。

この学会は数少ない臨床検査技師に特化した 国際学会で、このたび大学院生と学部生の有志 で参加しました。当日は学生フォーラムがプログ ラムされており、海外からの学生と国内の学生 が900名も集結して大盛況でした。臨床検査技 師の資格取得には世界各国で違いがあり、生理 検査は別資格であったり、国家試験が実施され ない国々があり様々でした。また、企業ブースが 多数出展されており、学内実習では扱うことの ない最新の検査機器・システムに触れることが でき、学生にとっては興味深かったようです。今 後も学生と学会・研修会などに参加して臨床検 査技師教育に活かしていきたいと思います。

#### 医療コミュニケーション開講準備

基礎看護学講座 粟納 由記子

平成31年度の開講予定に先がけて、27年度から検査技術科学専攻と看護学専攻の4年生を対象に開催しています。セミナーでは、医療者に求められる倫理的な態度、自分を大切にしつつ対象者も大切にできるコミュニケーションスキル、説明する力などのテーマでロールプレイやディスカッションを通してひとりひとりの学びを深めています。





## 学術·研究活動

## フィリピンの低所得者層地域における糖尿病患者の QOL向上プロジェクト ~健康診断とピアリーダーの育成~

成人·老人看護学講座 谷村 千華

鳥取大学「国際乾燥地研究教育機構」のプロジェクトとして、発展途上国における糖尿病患者のための保健教育事業を開始しました。対象国はフィリピンです。対象地区では、医療設備、定期的な健康診断、患者の知識、自己管理行動が不十分といった課題が明らかになりました。プロジェクトの目標は、糖尿病患者の知識と自己効力感の向上、自己管理行動の習得、糖尿病関連指標およびQOL改善、ピアサポートシステムの充実です。今後、定期的に健康診断を実施し、自己効力感理論および能動的学習方略に基づく、ピアリーダー育成のためのワークショップを開催する予定です。地区の人々と協働し、有意義な取り組みを推進していきたいと思っています。





## 日本学術会議連携会員として活動

基礎看護学講座 安藤 泰至

平成26年10月に日本学術会議連携会員(第23・24期、任期6年)に任命されました。日本学術会議はわが国の科学者の内外に対する代表機関であり、210名の会員と約2,000名の連携会員から組織されています。私は第一部(人文・社会科学)哲学委員会に所属し、いのちと心を考える分科会のメンバーとして活動しています。学術的な見地からの社会に対する提言は日本学術会議の重要な任務の一つですが、同分



どのメンバーを中心に昨年11月にシンポジウム「〈いのち〉はいかに語りうるか?」を開催するなど、積極的な問題提起を行っています。今年も日本医学哲学・倫理学会と共同で尊厳死についてのシンポジウムを企画中です。

科会では香川知晶氏、島薗進氏や私な



## 地域貢献活動

#### ほっとギホーター・けんこう茶園

地域·精神看護学講座 德嶋 靖子

「ほっとギホーター」は、医学部近くの義方小学校区において地域交流や健康づくり活動に取り組む学生や教員の有志です。活動の一つである「けんこう茶屋」は、空き家を活用したコミュニティスペース(岩倉ふらっと)で、地域の方がふらっと立ち寄ってお茶やおしゃべりを楽しみながら健康に!をねらった健康講座です。今年度は企画や予算立ても学生主体で考え、実施しました。地域の方たちのご意見もいただきながら試行錯誤の連続ですが、鳥大生の真面目さと遊び心のある取り組みをとおして、魅力ある活動にしていきたいです。







#### 更年期女性の健康支援活動

母性·小児家族看護学講座 池田 智子

女性は30代後半から女性ホルモンの分泌が少しずつ変化し、更年期以降は生活習慣病が現れやすくなりますが、あまり知られていません。私は日野町の健康福祉センターの保健師の方と連携し、更年期女性の健康支援活動として、婦人科検診の受診に合わせた健康相談を行っています。平成28年度は女性の健康カアップ教室として、体調の変化に気づき、ライフスタイルを見直し、更年期を上手に過ごすためのポイントを体験していただくプログラムを展開しました。



1回目教室「女性のからだのしくみを知ろう」



2回目教室「代謝をあげるチャンス!!」

## 新任・退職教員からのメッセージ



病態検査学講座 中本 幸子

私が鳥取大学医学部附属臨床検査技師学校に籍を置いて以来、早いもので四十 数年が過ぎました。鳥取大学の臨床検査技師教育はこの検査技師学校から始ま り、鳥取大学医療技術短期大学部を経て、鳥取大学医学部保健学科へと発展して まいりました。その発展と共に、その場の一員として教育に携わらせていただいたこ



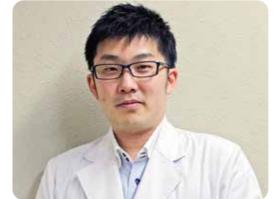
とはこの上ない喜びであります。また、この長い期間を大過なく勤め終えることが出来ましたのは、ご指導 くださいました恩師、温かく接していただきました多くの先生方や周りの多くの方々に支えていただいたか らです。皆様、本当にありがとうございました。最後に、鳥取大学医学部保健学科の益々の発展を心よりお 祈り致しております。

#### 新任教員紹介

病態検査学講座 大栗 聖由

私は平成28年8月1日より、鳥取大学医学部附属病院検査部から鳥取大学医学部保健学科病態検査学 講座に異動してきました大栗聖由と申します。私は主に小児神経疾患の電気生理学(脳波や筋電図)や脳 波解析について研究しています。これから社会へ羽ばたいていく臨床検査技師の卵たちに、今まで検査部 で働いてきた知識や現在行っている研究について詳しく教え、病気の早期発見や予後予測における臨床検 査技師の存在は必要不可欠なんだよと伝えていきたいです。まだまだ学ぶことがたくさんあると感じており ますので、皆様からの御教授、御鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。





## 平成28年度 卒業研究演題一覧



#### ■基礎看護学講座

- 1. 乳がんで手術を受ける患者の心理変化とその影響要因 ートランペット型意味分化モデルを用いてー
- 2. Wearing-off現象にあるパーキンソン病患者の体験 "すくみ"症状に向き合うA氏の体験から-
- 3. 苦悩の中にあるALS患者への援助 一病とともにその人らしく生きるために一
- 4. 慢性呼吸器疾患患者の退院支援における看護師の役割
- 5. 患者の望む生活を目指した病棟における退院支援カンファレンス 患者目標の共有と多職種連携に注目して-
- 6. 看護と死別悲嘆 ーケアの提供者として、悲嘆の当事者としてー
- 7. フッサールの現象学的還元の考え方を用いたケアにおける共感についての考察 熟練看護師が体験した場面を用いて-
- 8. 鳥取大学医学部生におけるスポーツ外傷・障害の実態と回復に向けた医療者の関わり
- 9. 高齢者の運動の現状と自己効力感の関係性 10. 療法士と看護師間のより良い情報共有方法の検討

#### ■成人·老人看護学講座

- 1. 再発・転移がん患者の心理過程に関する質的研究のメタ統合 2. トリアージナースに必要とされる能力に関する文献検討
- 3. シリアスゲームを用いた認知症ケア教育の有用性の検討 4. 成人期2型糖尿病患者が自己管理を継続するための家族支援のあり方
- 5. クリティカルケア領域における終末期看護に関する研究の動向と課題 6. 終末期がん患者にみられる死の受容過程とそのケアに関する内容検討
- 7. 終末期のがん患者に対する看護師および看護学生の態度と心理

#### ■母性・小児家族看護学講座

- 1. 夜勤勤務をしている女性看護師の育児の実態と必要なサポートの検討
- 2. フィリピン・パテロス地区における小児の食習慣について 一成人糖尿病者への質問紙調査より一
- 3. 幼児の遊びの嗜好とその関連要因 4. 医療系大学生のLGBTに対する意識調査
- 5. 看護女子大学生における子宮頸がんワクチン接種推奨中止後のワクチンに対する意識調査
- 6. 低出生体重児の出生予防に関連した看護研究の動向 7. 不好治療を受ける男性の体験の文献レビュー

#### ■地域·精神看護学講座

- 1. 在宅療養者を介護する家族が看取りをとおして抱いている思いに関する文献的考察
- 2. 在宅療養者の在宅療養継続要因と阻害要因、および訪問看護師の役割についての文献検討
- 3. 大学教員に対するてんかんの医療教育の必要性に関する研究
- 4. 精神看護学実習における入院中の患者さんとのコミュニケーションの中で看護学生が気がかりを感じやすい場面についての SST実施によるコミュニケーションへの気づき
- 5. 中心市街地に居住する虚弱高齢者の外出状況の実態と関連要因の検討
- 6. セルフモニタリングを活用した中山間地での効果的な健康づくりに関する研究~地域ぐるみで行うセルフモニタリングの効果の検討(第一報)~
- 7. セルフモニタリングを活用した中山間地での効果的な健康づくりに関する研究~聞き取り調査から得られた住民の健康意識の質的検討(第二報)~

#### ■生体制御学講座

- 1. 分子動力学法によるプロトネーション解析の検証 2. 脳血流の観点から見た認知症予防法の有用性の評価
- 3. 生活習慣関連検査を導入した認知症予防検診の有用性 4. アルツハイマー型認知症におけるAβ毒性の立体構造依存性
- 5. 成体マウス脳内の増殖細胞~MCM2陽性細胞の局在部位~ 6. NPC1-Like1依存性コレステロール輸送におけるORP10の役割

#### ■病態検査学講座

- 1. ヒト便中の長鎖脂肪酸解析 2. 4次元超音波診断装置によるVirtual Endoscopy実用化への試み
- 3. 環境分離Achromobacter xylosoxidansを用いた薬剤排出ポンプ阻害剤による作用効果の検討
- 4. 非結核性抗酸菌症に気管支肺炎を合併した剖検例 5. PCR法を用いた肉種鑑別

## 平成 29 年度 学年暦・学級委員名簿



事項	月日
学年開始(前期開始)	4月1日(土)
春季休業日	4月1日(土)~4月9日(日)
全学共通科目説明会	4月1日(土)・4月3日(月)
入学式・全学新入生オリエンテーション	4月6日(木)
各学部オリエンテーション	4月7日(金)
前期・第1クオーター授業開始	4月10日(月)
木曜日の振替授業	5月2日(火)
金曜日の振替授業	5月8日(月)
鳥取大学記念日	6月1日(木)
前期(第1クオーター)予備日	6月9日(金)・6月10日(土)
前期(第2クオーター)授業開始	6月12日(月)
前期(第2クオーター)予備日	8月8日(火)・8月9日(水)
夏季休業日	8月10日(木)~9月30日(土)
前期終了	9月30日(土)

事項	月日
後期開始	10月1日(日)
後期・第3クオーター授業開始	10月2日(月)
金曜日の振替授業	11月1日(水)
木曜日の振替授業	11月21日(火)
後期(第3クオーター)予備日	11月30日(木)・12月1日(金)
後期(第4クオーター)授業開始	12月4日(月)
冬季休業日	12月28日(木)~1月9日(火)
金曜日の振替授業	1月10日(水)
大学入試センター試験準備による休講	1月12日(金)
後期(第4クオーター)予備日	2月13日(火)・2月14日(水)
卒業式	3月18日(日)
春季休業日	2月15日(木)~3月31日(土)
学年終了(後期終了)	3月31日(土)

※休業日においても授業等を実施することがあります。

#### ■米子キャンパス 学年暦(2年次以降)

事項	月日
学年開始(前期開始)	4月1日(土)
進級生オリエンテーション	3月31日(金)
前期授業開始	4月3日(月)
鳥取大学記念日	6月1日(木)
前期授業及び試験終了	8月18日(金)
夏季休業日	8月19日(土)~9月30日(土)
前期終了	9月30日(土)

事 項	月日
後期開始	10月1日(日)
後期授業開始	10月2日(月)
冬季休業日	12月29日(金)~1月3日(水)
後期授業及び試験終了	2月22日(木)
卒業式	3月2日(金)
春季休業日	2月23日(金)~3月31日(土)
学年終了(後期終了)	3月31日(土)

※都合により変更する場合があります

#### ■看護学専攻 学級委員

入学年度	学 年	氏 名	所属講座
平成29年度	1年	安藤 泰至 准教授 / 笠城 典子 准教授	基礎看護学
平成28年度	2年	吉岡 伸一 教授 / 徳嶋 靖子 助教	地域·精神看護学
平成27年度	3年	南前 恵子 教授 / 池田 智子 講師	母性・小児家族看護学
平成26年度	4年	山本 美輪 教授 / 西尾 育子 講師	成人・老人看護学

#### ■検査技術科学専攻 学級委員

入学年度	学 年	氏 名	所属講座
平成29年度	1年	森 徹自 教授 / 上田 悦子 講師	生体制御学
平成28年度	2年	北村 幸郷 教授 / 下廣 壽 講師	病態検査学
平成27年度	3年	二宮 治明 教授 / 仲宗根 眞惠 助教	生体制御学
平成26年度	4年	廣岡 保明 教授 / 中川 真由美 准教授	病態検査学

## 平成27年度 後援会事業報告



#### 1.教育助成

#### 入学関連

- 入学式
- 新入生オリエンテーション
- 新入生合宿研修 [平成27年4月18日~19日]

#### 大学説明会関連

● オープンキャンパス [平成27年8月1日・10月31日]

#### 教育関連

- 新入生ふれあい朝食会 「平成27年4月8日~14日]
- 2年次学生と教員との懇談会
- 優秀学生表彰
- 看護学専攻・検査技術科学専攻へ助成
- 全学共通教育協力金へ助成

#### 2.国家試験対策

- 看護師等国家試験対策模試
- 臨床検査技師国家試験対策模試
- 3. 就職対策
- 教員による病院等の就職先への訪問
- 4.医学部国際交流助成
- 国際交流協定校との交流
- 5.文化行事援助
- 錦祭
- 6.後援会運営
- 保健学科広報「アレスコ」発行
- 後援会役員会

## 平成28年度 後援会役員名簿

役職名	氏 名	専攻·年次
会 長	松本 繁樹	看護学専攻4年
副会長	松浦 裕美	検査技術科学専攻4年
副会長	大森 泰史	看護学専攻2年
常任理事	足立 こずえ	検査技術科学専攻3年
理 事	米江 慶典	看護学専攻4年
理 事	松波 徳仁	看護学専攻4年
理 事	船﨑 信博	看護学専攻4年
理 事	恩田 賢一	検査技術科学専攻4年
理 事	田澤 直実	検査技術科学専攻4年
理事	安田 久仁子	検査技術科学専攻3年
監事	小乾 敬介	検査技術科学専攻3年
監事	井上 幹朗	看護学専攻2年

役職名		氏	名	役職指定
顧	問	廣岡	保明	保健学科長
顧	問	南前	恵子	医学部学生生活委員会委員(看護)
顧	問	笠城	典子	医学部学生生活委員会委員(看護)
顧	問	浦上	克哉	医学部学生生活委員会委員(検査)
顧	問	藤原	伸一	医学部学生生活委員会委員(検査)
幹	事	柴田	栄治	学務課長